

カイオム・バイオサイエンス (TYO: 4583)

各種治験が順調に進捗 創薬支援で中外製薬グループとの契約期間延長

◇2021/12期3Q決算の注目点

- ✓ 創薬事業は、臨床開発段階の2品目（CBA-1205、CBA-1535）の治験および治験準備が順調に進捗。導出品に関しても、ADCT-701が米国国立がん研究所と共同開発を開始する等、着実に進んでいる。
- ✓ 現状の収益の主力である創薬支援事業の売上は、1Q 1.4億円→2Q 1.3億円→3Q 1.5億円と堅調。中外製薬グループとの委託研究契約期間の延長に署名した。
- ✓ 21年9月末時点での、現預金は20.7億円。同社では、研究開発費に12億円程度+その他の販管費の支出が必要で、来年度にかけてファイナンスも視野に入ってくるものと思われる。

◇2021/12期3Q決算実績：前年同期比73%増収、損失幅は縮小

同社の2021/12期3Q決算実績は、売上高 541百万円（前年同期比 73%増収）、営業損失 850百万円（前年同期は 1,080百万円の営業損失）、経常損失 843百万円（前年同期は 1,087百万円の経常損失）、四半期純損失 842百万円（前年同期は 1,087百万円の四半期純損失）となった。

創薬事業は、1QにLIV-2008/2008bのライセンス契約一時金を計上しており 103百万円の売上（前期は 1百万円）に。創薬支援事業の売上高は438百万円。国内製薬企業を中心に既存顧客との安定的な取引が継続し、128百万円の増収となった。研究開発費は 860百万円。CBA-1535治験薬等製造費用を計上しているが、前期比 90百万円減少した。

BSにおいては、2021年9月末の現預金は 2,071百万円。2020年12月末より 615百万円減少した。資産合計は 2,950百万円となった（2020年12月末は 3,494百万円）。自己資本比率は2020年12月末の 88.2%から6.6pt 低下し、81.6%となった。

◇パイプラインの進捗状況：（次頁の図を参照）

* CBA-1205；国立がん研究センターでの第一相試験前半パートは順調に進捗。開発計画を変更し、当初よりも高容量の安全性データを取得する。既報の通り、第一相試験後半パートは、2021年末～2022年前半を目指し、肝細胞がん患者での有効性の初期評価の予定。

* CBA-1535；治験薬製造委託CMOにおける治験用原薬製造は予定通り進捗。新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、当初計画していた英国での治験に代えて開発への影響が少ない日本国内での治験申請への変更を検討。国内規制当局との調整の上、2022年前半の治験申請を行う見込み。

3Q決算アップデート

ヘルスケア

2021年11月30日

株価(11/29)	211円
52週高値/安値	386/176円
1日売買代金(22日平均)	55百万円
時価総額	85億円
発行済株式数	40.305百万株
PER(21/12予)	-倍
PBR(20/12実)	3.53倍
ROE(20/12実)	-45.6%
自己資本比率(21/9)	81.6%

上場市場 **東証マザーズ**

株価パフォーマンス



%	1月	3月	12月
株価	-13.5%	-19.8%	1.0%
相対株価	-1.0%	-1.7%	-11.1%

注目点

独自の抗体創薬開発でアンメットニーズに応えるバイオベンチャー企業。11品目のパイプラインを抱え、うち1件が臨床段階に。ファーストインクラスの創薬を目指し、創薬事業が着実に進行中

カイオム・バイオサイエンスはOmega Investment Limitedの顧客であり、同社の依頼を受けてレポートを作成しています。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)
2017/12	259	3.0	-887	-	-883	-	-882	-	-33.48
2018/12	212	-18.1	-1,539	-	-1,533	-	-1,533	-	-57.26
2019/12	447	110.3	-1,401	-	-1,410	-	-1,403	-	-44.61
2020/12	480	7.4	-1,283	-	-1,291	-	-1,293	-	-39.06
2021/12 (会予)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2020/12 3Q	312	10.5	-1,080	-	-1,087	-	-1,087	-	-31.33
2021/12 3Q	541	73.5	-850	-	-843	-	-842	-	-20.94



創薬事業パイプライン

導出品

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床試験	ステータス
ADCT-701 (LIV-1205 ADC)	DLK-1	がん (ADC)				2017.9~
LIV-2008 /2008b	TROP-2	がん				2021.1~

自社パイプライン

★ファーストインクラス

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床試験	ステータス
*CBA-1205 (ADCC enhanced)	DLK-1	がん				第一相試験中
CBA-1535 (Tribody™)	5T4×CD3 ×5T4	がん				臨床試験準備中
*BMAA	SEMA3A	非開示				導出活動中
*PCDC	CDCP1	がん (ADC)				導出活動中
創薬研究 プロジェクト (5件)	非開示	がん 感染症 中枢神経				—

2021年11月12日時点

出所：同社資料

* BMAA；2021年5月にSemaThera社とのオプション契約が終了したのに伴い、自社での事業機会を確保。海外の研究機関と共にセマフォリン3Aが関与する疾患に狙いを定めた共同研究を推進。

* PCDC；ADC用途を中心とした導出活動の推進及び追加動物試験を実施。2021年7月に、世界知的所有権機関で出願特許情報が公開。標的分子はCDCP1で、固形がん（肺がん、頭頸部がん、食道がん、大腸がん、子宮頸がん等）を対象疾患とするファーストインクラスの抗体。

* 創薬研究プロジェクト（5件）；上記以外の創薬研究プロジェクトにおいては、パイプラインの充実に向けた重点プロジェクトの導出・開発計画を検討。新規プロジェクトの立ち上げに向け既存プロジェクトの改廃も検討しており、新規の基礎出願に向けた準備が進捗中。

* ADCT-701；既導出品である、ADCT-701においては、ADCT社が米国国立がん研究所との共同開発を発表。2022年のIND申請および臨床試験に向けた準備が進行中である。

◇創薬支援事業の進捗：中外製薬グループとの委託契約研究延長

現在同社では国内大手製薬企業と創薬支援事業に関する契約を締結しているが、初期からの顧客である中外製薬およびChugai Pharmabody Research との委託研究契約を延長した。中外製薬と2024年12月31日まで3年間、Chugai Pharmabody Researchとは2026年12月31日まで5年間延長する。

◇ADLib®システムの活用と改良：

同社のコア技術である、ADLib®システムの活用と改良を継続。欧州において、ヒトADLib®システムのライブラリ、日本においてADLib®システムの交替取得方法について特許査定を行った。創薬支援事業に関連する技術の向上を図るとともに、自社開発の創薬パイプラインの強化にも資することが期待される。

財務データ

(単位：百万円)

	2019/12			2020/12				2021/12			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
[損益計算書]											
売上高	64	77	142	165	91	82	139	169	246	139	157
創薬事業	0	1	1	28	1	1	0	1	103	0	0
創薬支援事業	63	76	142	137	90	82	138	168	143	138	157
売上原価	27	26	58	52	61	46	59	70	64	62	78
売上総利益	37	51	84	113	30	36	80	99	182	77	79
販売費及び一般管理費	464	374	503	346	456	346	424	303	337	337	515
研究開発費	363	273	407	256	343	266	342	206	216	243	401
営業損失	-426	-324	-419	-233	-426	-310	-344	-204	-155	-260	-436
営業外収益	0	1	4	0	2	0	3	0	7	0	2
営業外費用	6	4	4	0	0	2	10	1	1	0	1
経常損失	-432	-327	-418	-233	-425	-311	-351	-205	-150	-259	-434
特別利益	2	1	6	0			0	0			
特別損失											
税引前当期純損失	-430	-326	-412	-233	-425	-310	-351	-205	-150	-247	-433
法人税等合計	1	0	1	0	1	0	1	1	11	1	1
当期純損失	-431	-326	-413	-234	-425	-311	-352	-206	-161	-248	-434
[貸借対照表]											
流動資産	3,048	3,206	2,807	2,561	2,309	2,805	3,316	3,249	3,294	3,088	2,675
現金及び預金	2,776	2,899	2,469	2,106	1,967	2,472	2,881	2,686	2,580	2,302	2,071
固定資産	219	217	242	247	247	249	249	246	244	241	274
有形固定資産	15	14	12	11	10	9	8	7	6	6	4
投資その他の資産	204	204	230	236	237	240	241	238	237	235	269
資産合計	3,267	3,423	3,049	2,808	2,556	3,054	3,566	3,495	3,537	3,329	2,950
流動負債	177	207	154	145	315	427	378	343	378	428	468
短期借入金					142	199	199	180	180	190	199
固定負債	41	41	41	41	42	42	42	42	42	42	53
負債合計	219	248	196	187	357	469	420	385	420	470	522
純資産合計	3,048	3,175	2,853	2,622	2,199	2,585	3,146	3,110	3,118	2,859	2,428
株主資本合計	3,048	3,175	2,853	2,622	2,199	2,585	3,146	3,110	3,118	2,859	2,428
資本金	5,856	6,084	6,132	6,132	6,133	846	1,303	1,388	1,471	1,471	1,472
資本剰余金	5,846	6,074	6,122	6,122	6,123	2,446	2,903	2,987	3,071	3,071	3,072
利益剰余金	-8,682	-9,008	-9,421	-9,655	-10,080	-736	-1,088	-1,294	-1,455	-1,703	-2,136
新株予約権	28	26	20	22	24	30	28	29	30	19	19
負債純資産合計	3,267	3,423	3,049	2,808	2,556	3,054	3,566	3,495	3,537	3,329	2,950
[キャッシュ・フロー計算書]											
営業活動によるキャッシュ・フロー		-677		-1,537		-528		-1,360		-560	
税引前当期純損失		-755		-1,401		-734		-1,290		-396	
投資活動によるキャッシュ・フロー		-		-26		-		3		-	
有価証券の取得		-		-		-		-		-	
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,248		1,341		894		1,944		176	
株式の発行		1,249		1,345		697		1,769		166	
現金及び現金同等物の増減額		570		-222		366		580		-384	
現金及び現金同等物の期首残高		2,328		2,328		2,105		2,105		2,686	
現金及び現金同等物の期末残高		2,899		2,105		2,472		2,686		2,301	

注) キャッシュ・フロー計算書については、2Qは1Q～2Qの累計、4Qについては1Q～4Qの累計の数値となっている。従って、期首残高も、それぞれ1Qの期首残高となる。

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。